

カタックスM 施工要領書

株式会社クローバー

カタックス事業部

東京都世田谷区南烏山3-11-20

TEL 03-3307-2455

FAX 03-3307-4203

本施工前には必ず現場で事前に試験施工をし、確認後本施工を行って下さい。

施工面がタイル面や鏡面仕上げなど、石材無機質系成型材等の吸水性の低い表面など、種類によってはカタックスMが浸透しないで表面に残存して乾燥し白い結晶になり固着する場合があります。塗布後5分以内に、水に浸し固く絞ったウエスで充分塗布面を拭き取って下さい。

1. 周囲の養生・作業時の注意

塗布施工時には周囲のガラス・アルミサッシ・植栽・洗濯物・自動車・オートバイ等にカタックスが付着しないように養生して下さい。

カタックスは強アルカリ性 (PH12.5) です。塗布の際には皮膚に付着しないよう、ゴム手袋・長袖・長ズボン(水の浸透しない保護衣)を着用し、直接身体に付着するのを避け、目に入らないように保護めがねを着用し、特に上部塗布作業時の、顔面へのはねかえりを防ぐように肌を覆って作業して下さい。

もし、目に入った場合や皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流して下さい。

一般養生

- (1) カタックスM塗布後12時間は、雨・雪等がかからないように養生して下さい。
- (2) 植栽(植木・鉢植え・花壇)、窓(ガラス・アルミサッシ)、自動車(バイク)、及び洗濯物は水洗時の水やカタックスMの飛沫がかからないように養生して下さい。
もし、自動車・窓等にカタックスMが付着した場合は、
 - (A) 直後なら、よく水洗いしたウエスで拭き取って下さい。(2~3回繰り返す)
 - (B) 乾いて白い結晶になってしまった場合は、スポンジタワシに水をつけ丁寧に拭き取って下さい。

2. 下地調整

(1) クラック

施工面に0.3mm以上のクラックがある場合、下記(A)・(B)いずれかの方法で補修してください。

- (A) クラックに沿ってVカットし、カット面にカタックスMを塗布の上、断面補修用樹脂モルタルにて補修して下さい。
- (B) エポキシ樹脂等充填剤または注入剤を注入して下さい。

(2) ジャンカ、欠損部

ジャンカ、欠損がある場合は、周辺の脆弱部をハツリ取りカタックスMを塗布の上、断面補修用樹脂モルタルにて補修して下さい。

(3) 鉄筋爆裂部

鉄筋爆裂部がある場合、周辺の脆弱部をハツリ取り鉄筋部は良く錆をケレンし防錆剤を塗布して下さい。

乾燥後、コンクリート部に、カタックス M を塗布の上、断面補修用樹脂モルタルにて補修して下さい。

3. 下地洗浄

- (1) カタックス D 剤は水で 10 倍希釈して 1㎡当たり 150cc 以上塗布し、10分～15分経過後 100～150kgf/cm²の水圧で高压水洗して下さい。
- (2) 躯体表面に付着物が残っている場合は、(1) を再度行って下さい。
この場合、ブラシ等を用いて擦り取って下さい。
- (3) 施工面のジャンカ・コールドジョイント、0.3mm 巾以上のクラック、欠損部、穴、欠け、欠落目地等は補修して下さい。酸性洗浄剤や下地調整剤（シーラー等）は絶対に使用しないで下さい。万が一それらを使用した場合はすすぎを十分行った後、カタックス D（水で 10 倍希釈）を塗布して下さい。（この作業は中和が目的です）最低 30 分以上経過後、再度すすぎを十分行って下さい。中和が適切に行われたことを確認するために、洗浄面に水をかけて 5 分後、その洗浄面の床面とイリズミ部に溜まった水をリトマス試験紙で PH を計り PH6 以上であることを確認してからカタックス M を塗布して下さい。PH が PH6 以下（酸性）を示した時は、再度中和作業を行って下さい。
* 新設のコンクリート面の場合も、洗浄作業を必ず行ってください。

4. カタックス M の塗布

水洗後、多少湿っていても良いですが、できるだけ乾燥させて下さい。

施工面の温度が直射日光などで 40℃ 以上の場合は日陰部分から、又は水冷してから塗布して下さい。水をかけた場合は、乾燥を待たずにそのまま塗布して下さい。

雨天、降雪時は施工を控え、降雨、降雪後は表面の濡れが引いてから施工して下さい。

ローラー・刷毛・スプレーのいずれかで飽和するまで塗布しますが、

- (1) 特に脆弱部は吸い込みが激しいので、大量に塗布して下さい。
- (2) ローラーの場合は下から上へと、しごき上げるように追っかけ 2 回塗布して下さい。
- (3) スプレーはできるだけ低圧にし、霧にして無駄のないように縦、横と追っかけ 2 回塗布して下さい。
- (4) 塗布量は、躯体の状況（経年、劣化、密度）により異なりますが、1㎡あたり 200cc の塗布量を基準として塗布して下さい。

5. 効果の確認

足場撤去前、カタックス M 施工効果を確認するために塗布 12 時間経過後に、散水テストをし、濡れ色を呈する場合は、塗布量が不足しているため再度塗布し、その 12 時間後に、同様の確認試験をしてから、足場撤去して下さい。